



## 動物はどうして人間と話ができないの

### 動物は同じ仲間としか話せない

けっこう頭のよい動物であるネコやイヌや、サルなどは、同じ仲間どうしでは、ニャアとかワンとか、なき声や身ぶりやしぐさで、人間が話すのと同じように、おたがいの気持ちを伝えあっているようです。それぞれ、同じ仲間だけに通じる、ことばのかわりになるものがあるからです。

でも、これらの動物は、ほかの動物とは話できません。それぞれ、頭脳や、口やのどなどの体のつくりがちがうために、話せないのです。

オウムやキュウカンチョウが、人間のことばを話すのは、ただ、話し方をまねているだけで、ことばがわかって話をしているわけではありません。

### 人間と話ができるチンパンジー

最近、人間に近い頭脳をもっているといわれる、チンパンジーやイルカを使って、なんとか人間と動物とが話をできるように、という実験が行われています。

頭がいいアイちゃんというチンパンジーは、訓練した結果、人間が質問すると、絵文字で返事ができるようになりました。たとえば、赤鉛筆を5本持たせると、「赤い、えんぴつ、5」という三つの絵文字を持ってきて見せます。日本にいるチンパンジーです。

アメリカの実験では、手話で「ネコ、好き、やわらかい」などと話せるゴリラもいます。人間と、長く飼っているペットなどとは、おたがいに声やしぐさ、表情などで気持ちがわかるようになりますが、やはり、ことばほど細かいことは伝えられません。

(監修・今泉 忠明)

